

# 末梢血幹細胞採取 クリニカルパス(血縁ドナー)

日付		月 日( )	月 日( )	月 日( )	月 日( )
入院目的		末梢血幹細胞採取目的			
スケジュール		末梢血幹細胞採取前検査とG-CSF投与があります。	朝の採血結果を確認後、G-CSF投与があります。		
到達目標		十分なオリエンテーションにより末梢血幹細胞採取を安心して受けることができる。 G-CSF投与による症状観察と対処ができる。			
治療	処置	特にありません			・末梢からの採取が困難な場合は鼠径から透析用カテーテルを挿入します(TV室)
	処方	ロキソニン錠(鎮痛剤) 腰や骨の痛みがあれば看護師に相談して内服してください			
	注射	入院後G-CSF皮下注射があります。	G-CSF皮下注射があります		
検査		入院後採血があります(手の甲からとります。)	朝に採血があります(採取が終了するまでは、手の甲からの採血になります)		
栄養	朝		常食	常食	常食
	昼	常食	常食	常食	常食
	夜	常食	常食	常食	常食
看護	測定項目	体温(14:00) 脈拍(14:00) 最高血圧(14:00) 最低血圧(14:00) SpO2 (14:00) 身長(入院時) 体重(入院時)	体温(14:00) 脈拍(14:00) 最高血圧(14:00) 最低血圧(14:00) SpO2 (14:00) 便回数(14:00) 体重(7:00)	体温(14:00) 脈拍(14:00) 最高血圧(14:00) 最低血圧(14:00) SpO2 (14:00) 便回数(14:00) 体重(7:00)	体温(14:00) 脈拍(14:00) 最高血圧(14:00) 最低血圧(14:00) SpO2 (14:00) 便回数(14:00) 体重(7:00)
	安静度・活動	制限はありません。G-CSF皮下注射終了後、医師の許可を得て外出外泊ができます。			
	清潔	シャワー入浴可です			
	準備ケア項目				
説明		入院後病棟内を案内します。 白血球を増やす薬について、末梢血採取の方法・採取までのスケジュールについて説明します。 	G-CSFによる以下の副作用症状があるときには、医療者へ伝えてください。薬剤対処を調整します。 痛み(骨、頭、首、背部、関節、筋肉)、息苦しい感じ、左側のおなかの痛み、食欲不振、吐き気、眠れない、注射部位の腫れや痛み、皮膚の発疹など		

月 日( )		月 日( )	月 日( )	
G-CSF投与後に末梢血幹細胞採取です		G-CSF投与後に末梢血幹細胞採取です (必要な場合)		採血結果を確認後退院です
合併症を起こさず採取が終了できる。 G-CSF投与による症状観察と対処ができる。				不安残さずに退院できる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・9時30分から末梢血幹細胞採取があります</li> <li>・採取終了後1時間で止血バンドを外します</li> </ul>				
ロキソニン錠(鎮痛剤) 腰や骨の痛みがあれば看護師に相談して内服してください				
朝6時にG-CSF皮下注射があります				
朝の採血は穿刺時におこないます(病棟での採血はありません)			採血あります	
常食	常食	常食		
常食	常食	常食		
常食	常食	常食		
体温(7:00 14:00 20:00) 脈拍(7:00 14:00 20:00) 最高血圧(7:00 14:00 20:00) 最低血圧(7:00 14:00 20:00) SpO <sub>2</sub> (14:00) 便回数(14:00) 体重(7:00)	体温(7:00 14:00 20:00) 脈拍(7:00 14:00 20:00) 最高血圧(7:00 14:00 20:00) 最低血圧(7:00 14:00 20:00) SpO <sub>2</sub> (14:00) 便回数(14:00) 体重(7:00)	体温(7:00) 脈拍(7:00) 最高血圧(7:00) 最低血圧(7:00) SpO <sub>2</sub> (7:00)		
病院の中は自由に動いて大丈夫ですが採取前後は病棟にいてください。				
シャワー入浴可です				
採取前の食事は必ず摂取してください。水分も多めに取ってください。採取前にトイレをすませてください。 貴重品はセーフティーボックスに入れて鍵を採取場所に持って行ってください。採取開始時間前には自己血貯血室へ到着するようにコーディネーターと一緒に向かいます。採取後は車椅子で帰室します。				
G-CSFによる副作用症状があるときには、医療者へ伝えてください。採取時や採取後には、採取時に使用している薬剤の影響でカルシウム量が低下してしびれなどが出現する可能性があります。薬剤対処ができるので、早めに医療者へ伝えてください。また、両腕の針を刺した部位からの出血や腫れ、痛みがないか確認します。変化があるときには医療者へ伝えてください。		次回受診日について医師と日時を調整します。受診の方法について確認します。退院手続きがあります。		
				